

会 報

京築消防設備

京築消防設備安全協会・豊前市大字荒堀525 - 1・事務局 京築広域圏消防本部内・TEL0979-82-0119

平成 17 年度 第 13 回通常総会

平成17年度の通常総会が去る6月21日に行橋市宮市町の「京都ホテル」において、来賓に京築広域圏消防本部 沼田消防長をお招きし開催されました。事務局より、総会出席者 41 名の報告が行われ、鶴原消防設備(株)吉富出張所長の高濱副会長の開会のことばに始まり、岩崎会長の挨拶の後、昨年10月、



(株)周防灘ビルサービス 代表取締役社長 岡本 隆氏が全国消防設備安全センター理事長表彰を受賞された報告並びに賞状と盾が披露されました。



会員の皆さん

その後、(財)福岡県消防設備安全協会長 児島氏及び京築危険物安全

協会長 門司氏からの祝電披露があり、議長に上城電気工事店の上城 直之氏を選出し、審議に入りました。まず、第1号、2号議案の平成16年度事業報告及び収支決算報告がなされた後、山口監事から適正に処理されている旨の報告を受け、原案どおり承認可決されました。

つづいて会長から第3号議案の役員改選について説明があり、事務局から改選の方法等及びすでに各構成団体から届出があった新理事の方々の



議長 上城氏

発表がなされた後、新理事による理事会が別室で開かれ、会長及び副会長、常任理事は、全員再任されました。

監事については、山口氏(再任)と(有)築上工事の倉垣氏が選任され、承認されました。つづいて、第4号、5号議案の平成18年度事業計画案及び予算案についても原案通り承認を頂き可決され、小路副会長の閉会のことばで総会は無事終了しました。



宮西理事

総会後の懇親会では、会員相互の親睦が図られ、宮西理事の万歳三唱を頂き、盛会裏のうちに終了しました。

本年度の今後の主な行事予定

* 三役会・理事会(18年1月)

* 一人暮らし老人宅の火災警報器の設置(18年5月)

* 視察研修(17年10月6日、7日)

* 児童防火標語コンクールへの協賛(17年11月)

一人暮らし老人宅の火災警報器の設置



去る4月27日、小路副会長をはじめ、地元勝山町の会員のソーラー設備商会 渡辺三幸氏、勝山町役場総務課職員など5名で、勝山町内の一人暮らしのお年寄り10世帯を訪問し住宅用火災警報器をプレゼントしました。

「防災の一助」と協会がはじめた事業で、平成8年に豊前市に設置したのを皮切りに、今回で9回目(9市町村)となり、管内すべての市町村に設置したことになります。

お年寄りの方たちに警報器の仕組みや取り扱い方、また、火を取り扱う際の注意事項などを説明し、寝室に取り付けました。

一巡したことにより、今年度も豊前市から設置することとなりました。

消防設備士・危険物取扱者免状の書き換え

消防設備士・危険物取扱者の皆様へ

免状は公布の日から10年以内ごとに「写真の書換え」が義務付けられています。書換え期限の過ぎた免状をお持ちの方は、至急書き換え手続きを行ってください。

手続きは以下のとおりです。

申請先

居住地又は勤務地の都道府県あるいは免状を交付した都道府県の(財)消防試験センター



新規役員、会員の紹介

役員に異動がありました、前任者同様協会発展のためよろしくお願いいたします。

理事 (北九州電設協同組合豊築支部代表)

(新) 赤城電工 (旧)山田孝行氏
正田道雄氏

理事 (築城町指定水道工事店代表)

(新) (株)ケイテック (旧)門野弘幸氏
木下裕司氏

新会員の紹介

福岡県電機商工組合豊築支部に、

苅田町神田町1丁目6-3「にしむらでんき」西村 恭氏が入会されました。

剣道講習に参加して学んだもの



「鶴原消防設備(株)吉富出張所 所長 高濱 直規」

残暑の候、協会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私ごとではございますが去る、5月25日から29日の5日間、奈良県奈良市で実施された、第43回中堅剣士講習会(全日本剣道連盟主催)に県代表として参加する、またとない機会を得ました。

この講習会は今後各県において、中核となり剣道界を背負うことが期待できる剣士の練成強化を行うとともに、指導力の養成を図ることを目的とした講習会です。今回の講習に参加するにあたり、諸先生から「死ぬ気でいって来い」との励ましの言葉通り精神的、肉体的にとってもハードな講習でした。

5日間の講習で得たものは計り知れないものであり、そのすべてが財産であり、特に講和の中で強調された言葉で「人間形成の道は教育である。」いかに日々の教育が大切であることを痛感しました。

「我が人生に終わりなき剣道修行」を、新たな気持ちで今後も挑戦していく有意義なものとなりました。

最後になりましたが、協会員及び事務局様方のご発展を心からお祈り申し上げます。

剣道教士 7段

高濱 直規

なぜ事故は起こるのか！

ヒューマンエラー (JR 福知山線脱線事故から学ぶ)

今年4月25日、JR西日本宝塚線(福知山線)尼崎で脱線事故発生。107名の死者、500名近い負傷者がでる、JR民営化後最悪の事故となりました。

事故の直接の原因は、運転士の運転ミスだと考えられています。では、悪いのは運転士でしょうか。もちろん、一般的に運転をする者が自分のミスで事故を起こせば、法的責任を問われるのは当然です。しかし、運転士個人だけに責任を負わせても、事故は減らないでしょう。彼がどんな心理状態で、なぜ運転を誤ったのかを、考えなくてはなりません。

ヒューマンエラーとは、今回のような人間が犯した失敗をいいます。人間の見まちがいや操作のミス、判断ミスで、意図しなかった結果が起きてしまったような場合です。

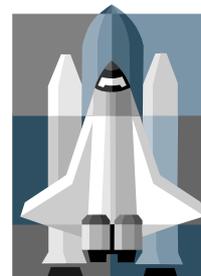
ヒューマンエラーによる事故は、人災とも言えるわけです。しかし、それでは失敗した当人を事故の原因として、責任を負わせるべきなのかという、そうではなく「ヒューマンエラー」の考え方は、むしろ正反対です。個人の責任だけを追求し、もっと気をつける、集中しろ、がんばれと、叱咤激励するだけでは、事故は減りません。

人間は、どんなに優秀な人が、どんなに気をつけていても、事故は発生するものです。では、その前提に立って、どうしたらミスを防げるか、事故を防止できるのかと考えて対策することが「ヒューマンエラー」の考え方で

ヒューマンエラーによるミス発生要因13のポイント

知らない 判断が甘い 忘れる 間違える ルールを破る 省略する・手抜きする コミュニケーションが下手 みんながしていることだから・・・ いつもしてることだから・・・ 分かっているけど個人差がある 予想できない行為をする 自分のところは大丈夫と思い込む

以上13の発生要因を事前に知り、対策することによって、事故が少しでも減ることになれば幸いです。



事業所訪問

35	事業所名	角杉電業株式会社	
	代表者名	角 杉 清 貴	
	所在地	苅田町若久町2丁目5-5	
	<p>昭和43年4月に創業、電気設備工事、管工事、機械設置工事の設計施工を業の中心とし、各発電所内や近年では、官公庁の電気、空調設備の保守点検工事にも力を注いでいます。施行に当たっては「良心的・高能率施行を理念に技術の向上、厳格な品質管理、徹底した安全管理」をモットーに、社会に貢献できる企業を目指し日々活動をしておられます。</p>		
36	事業所名	(株)米田水道	
	代表者名	米 田 龍 之 介	
	所在地	行橋市行事4丁目4-36	
	<p>昭和41年に創業し、50年に法人化されました。現在設備業は、環境問題により、大変なスピードで変化しつつある省エネ・無公害などに対応すべく社員一同一生懸命勉強し、お客様の要望に応じていきたいとのこと。また、社員の健康管理はもとより、就業中の安全帽の着用や工具の点検など危険防止対策も万全です。座右の銘は「忍耐」。</p>		

編集後記 世界に誇る日本の花火！



中国で発明され「狼煙(のろし)」として使われた黒色火薬が花火の祖先であり、鑑賞用の花火は、14世紀後半イタリアのフィレンツェにはじまりました。一説には火を吐く人形のようなものだったようで、その後ヨーロッパ中に広がり大航海時代と共に世界中に伝わりました。

日本への火薬の伝来は1543(天文12)年の種子島ですが、1613(慶長18)年イギリス国王の使者ジョンセリスが、駿府城の徳川家康を尋ねたとき持参の花火を見せたという記録が残っているというのが一般にいられています。さらに最近になって、その数十年前に伊達政宗公が見たという古文書も見つかっていて、当時の花火は筒から火の粉が吹き出すもので、現在のような打ち揚げ花火の登場は19世紀になってからのようです。

事務局では、会員皆様の感想、寄稿文などをお待ちしています。お寄せいただいた方には、粗品をご用意しています。また、事業所訪問のコーナーでは、順次会員皆様をご紹介します、アンケートなどにつきましては、ご協力をお願いいたします。